

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸3-2-1

愛知県東大手庁舎1階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993



〈あま市小中学校絵手紙より〉



新型コロナウイルス感染症

緊急事態宣言

対象区域：愛知県全域

実施期間：1月14日から2月7日まで・25日間

新型コロナウイルス感染症

県民・事業者の皆様には、以下の点についてお願いします。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ①不要不急の行動自粛 | ⑥テレワークの徹底等 |
| ②県をまたぐ不要不急の移動自粛 | ⑦職場クラスターを防ぐ感染防止対策 |
| ③高齢者等への感染拡大の防止 | ⑧イルミネーションの早めの消灯 |
| ④基本的な感染防止対策の徹底 | ⑨イベントの開催制限等 |
| ⑤営業時間短縮とがけの徹底 | ⑩学校等での対応 |

《もくじ》

- P1. 写真：あま市小中学校絵手紙、コロナ関連情報
- P2. 絵手紙発送、オンラインあおぞらカフェ「足湯」
- P3～4. インタビュー、イベント情報、編集後記

←↓愛知県ホームページより

●愛知県・新型コロナウイルス感染症「県民相談総合窓口」(コールセンター)

電話番号：052-954-7453 対応時間：9:00～17:00 (土・日・祝日も毎日)

●新型コロナウイルス感染症が心配な時の看護師による一般相談窓口 愛知県感染症対策局感染症対策課

電話番号：052-954-6272 (ダイヤルイン) 対応時間：9:00～17:00 (土・日・祝日も毎日)

あま市小中学校・「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう」

あま市内 17 校の小中学校の生徒の皆さんが取組んでくださった絵手紙（総数 3,819 枚）を、定期便に同封して発送するために、各小中学校の作品を組み合わせる仕分け作業を行いました。

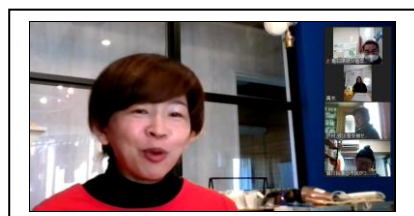
小学校低学年生のかわいらしい雪だるまの絵や、中学生のプロ並み(!?)のイラストなど、それぞれの生徒たちの個性が光っています。また、今年度が 8 回目の絵手紙の取組みに、各学校の先生たちの熱心なご指導も感じられます。



どのような作品が届くのかは、定期便を手にとってのお楽しみです。そして、受け取られた方から各学校宛てに絵手紙のお礼のお手紙が届けば、一生懸命に絵や文章を工夫して書いてくださった生徒さんたちへの大きな励みになることでしょう。今年はずいぶんあなたも一筆書いてみませんか？

オンラインあおぞらカフェ・「エプソムソルト」の「足湯」で、冷えない身体を作ろう！

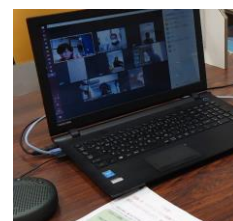
1/13(水)のオンライン・あおぞらカフェで、エプソムソルト(硫酸マグネシウム…海水や温泉の成分)を使った「足湯」を楽しみました(5 世帯参加)。講師の鈴村ユカリさんの説明により、ハーブのスイートマジヨラムの香りを楽しみながら、鼻づまりや口内炎など自律神経の回復に効くことを学び、



エプソムソルトの「足湯」に参加者は自宅で「気持ちいい～」と和みました。

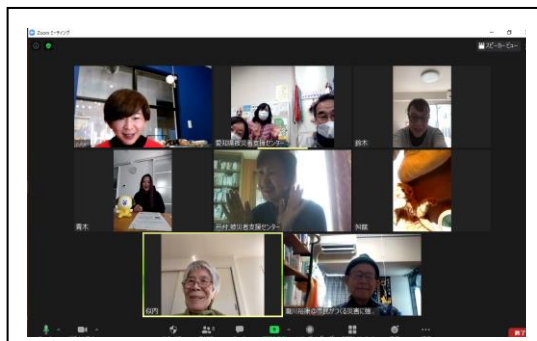


オンライン入室 スタンバイ

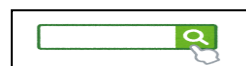


〈参加された鈴木真砂子さんの感想から〉

お陰様で世界がひとつ広がったように思います♪ありがとうございました😊 鈴村さんの優しい説明でとても勉強になりました。画面越しに皆さんにお会いできて嬉しかったです。会話の楽しさや足湯の癒しで、正月疲れが解消された感じでした。オンラインから退出し皆さんとお別れした後、少し寂しい様な…何か不思議な空間を感じました。



オンラインについて：コロナ禍の最近では、屋内で集まるのが難しいので、オンライン交流会として「あおぞらカフェ」を開催しています。パソコンやスマホの画面を通してでも互いの顔が見えて、声が聞ける便利なツールです。「やったことないの…」「難しそう…」という方も、操作の仕方についてはセンタースタッフがサポートします。やってみたら意外と簡単、ぜひご参加ください。



インタビュー あの人・この人の近況

佐藤宏蔵さん(82才 南相馬市在住)

小牧市に避難されていた宏蔵さんは、4年前に帰還されました。1/9に電話インタビューをして、ご家族の帰還後の暮らしなど、近況を伺いました。〔聞き手：編集ボランティア瀧川〕

○「そちらは寒い？」

寒いよ。明け方はマイナス 4℃ぐらい。雪はないけど海からの強い風が吹き、それが寒いんだ。

○「皆さん、お元気ですか？」

元気だよー。(奥さんのキヨ子さんは)体調はまあまあだが、耳が遠くなって大声で話すから、まるで喧嘩をしているよう。手足・腰・肩も痛くて食事が作れず、自分(宏蔵さん)が毎日 3 食作っている。もう 25 年も。ホッキご飯を作ると、「また？飽きた！」と言われる。

○「息子さんは？」

昨年 4 月に勤務先がコロナで倒産し、失業保険が 3 月で切れるので、仕事を探している。行き先は結構あるので、再就職できると思う。

○「毎日何をしているの？」

テレビを見ている。友人と喋るチャンスがほとんどない。唯一、老人福祉センターに弁当持ちで行って、風呂に入って、お茶をよばれて、喋るチャンスがある。200 円払う。デイサービスではないんだ。

○「そこで原発や避難の話は？」

全くしないよ。コロナの話ばかり。

昨年は花火も、祭り・野馬追も、全部中止だった。コロナには気を付けている。

○「福島に帰ってから何か変わったことは？」

2019 年 10 月 1 日に突風があり、家の脇に自分で建てた倉庫が壊れたんだよ。倉庫の中の物が全部吹っ飛んで無くなってしまった。倉庫の材料代 50 万円も無くなり、松の木も倒れた。近所でも 5 軒の車庫や物置が倒れたよ。

○「一番考えることは何？」

先行きが短いこと。82 才になったから不安だ。年金暮らしだ。愛知県にいた時に 6 人で知事公舎に入れてもらったことがある。大村知事にはお世話になった。お茶も出た。きちんと挨拶された。知事は威張らないし、避難者にとって安心材料だ。

【インタビューを終えて】

宏蔵さんは大工さんだったので、私の家を修理してもらったことがあり、お礼を言い、少し畑もやっている話をしたら、「猪が出るか？」と問われ、被害を被っていると伝えたり、70 分ほど話をしました。

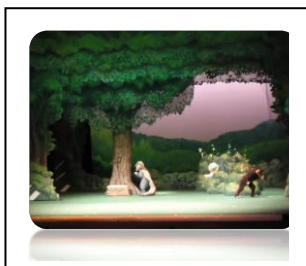
「ふれあいひろば小牧」(2017) で
佐藤宏蔵さんとキヨ子さん



劇団飛行船 観劇イベント交流会「7匹の子ヤギと狼」

2020/12/19 (土)

会場：日本特殊陶業市民会館 フォレストホール



昨年5月に福島市に帰還された宗像敏子さんに電話でお話を伺いました。「今朝はマイナス7℃でしたが、お天気がいいので今は温かいですよ。部屋から見える吾妻連峰は、時間によって違う姿をみせてくれます」「福島の野菜(特に白菜)はすごくおいしいので、白菜漬けを作っています」と、今住んでいる所に満足しておられるようです。 【聞き手：編集ボランティア富田】

○あの日とは？

福島県須賀川市の自宅にいました。あまりの揺れで、とんでもない事が起きて動転してしまい、外に出て一人で草むらの草につかまっていた。顔を上げて見たら電線が大きく揺れていました。

○なぜ豊田市に？

娘が住んでいた豊田市に自主避難を決めました。3.11までは予想もしなかった、思いがけない移動でした。慣れない土地で言葉も違い、買い物に行き道が分からなくなり、何回も警察のお世話になりましたよ。買い物の途中、川べりのベンチに座って泣いた事も。団地の草取りに参加する内に、近所の人たちと話をするようになり、少しずつ乗り越えていけました。

ある日、家のカギを持たずに出かけた間に、娘が家にカギをかけて出かけてしまい、近所の方が5階のベランダ越しに我家に入ってカギを開けてくださり、無事入れた事もありました。

○今はここに落ち着いている

地震→避難→今は福島に落ち着いています。望んで来た訳でも計画を立ててこうなったわけでもない。原発事故、政治の在り方などいろんな問題があったけど、最終的にこの場所があったのだと思います。元の所に住めず、手を尽くしても何ともしようがない事もあるけど、「どうしたら幸せになるんだろう」と現実を見ていきたい。現実を見ないと前には進めない。そして朝起きた時に、「今日はどんないい事があるのだろうか？」と考える事が大切だと思います。

無我夢中で暮らしてきました。「ここでは死ねない決して豊田市が悪いという意味ではなく)、ただ故郷に帰りたい」という気持ちでした。でも豊田市に9年間住んでいたのも、帰還すると決めた時、近所の方から「なぜ帰るの?」「頼りにしていたのに」と言われました。それを振り切って福島に帰ってきました。

宗像さんの漬物石——福島の美味しい白菜で作られる白菜漬けは、宗像さんのお母さんが使っておられた漬物石で漬けられます。避難する時に豊田市に持って行き、今回も引っ越し荷物の一つとして福島に持って来られました。宗像さんにとって漬物石は「宝物」なのです。

世界の子どもたちに目を向けて——宗像さんはNPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン(世界中の「すべての子どもに豊かないのち」をスローガンに活動する)のチャイルドスポンサーとして、2人の子どもの里親をしておられます。地球上の子どもたちが教育を受ける事はすごく尊いと話されました。ご自分が大変な間もずっと、世界の子どもたちにも目を向けて来られたのですね。

【イベント情報】

*詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。

開催日	● イベント名	内容(主催など)	会場
2021年2月10日(水) 11:00~11:45	あおぞらカフェ 「ハーブティー」	「ハーブティーでほっと一息」緊張ほぐしを。 共催:支援センター・あおぞらカフェ実行委員	オンライン 開催

《編集後記》

- ・パソコンで クックパッドを 調べては レシピを見つけ 次々料理 (T.H)
- ・インタビューのお話がすごく良かったので、お人柄がにじみ出てうまく伝わりますように。(T.S)
- ・「行動の変容」って？ それは「価値観の変容」から生まれるのではないだろうか？(T.K)